

○「令和5年度 鹿行地域サツマイモ基腐病侵入防止研修会」を開催しました。

令和5年産のサツマイモの収穫作業や貯蔵を開始するにあたって、本病のほ場での確認方法や農薬の使用方法、貯蔵中の対応について改めて周知するため、8月29日に研修会を開催し、生産者やサツマイモ基腐病対策連絡協議会構成員等、計60名が参加しました。

研修会では、「①サツマイモ基腐病の見分け方②収穫期から貯蔵期の対策及び次作の対策③貯蔵中に疑わしい症状を見つけた場合の対応④茨城県総合防除計画」について説明しました。

サツマイモ基腐病の侵入防止には、菌を持ち込まないことが重要です。また、万が一発生した場合は、まん延防止のため、早期の発見が重要です。疑わしい症状を確認した場合は、株の抜き取り等を行わず、管轄の経営・普及部門、普及センターへ連絡をお願いします。併せて、万が一発生した場合に適切な対策を行うために、感染の原因やルートを追跡できるよう、日頃から栽培履歴の記帳をお願いします。

